



News Letter

No. 94

The Iida City Institute of Historical Research

2018年6月1日 発行

飯田市歴史研究所
〒395-0803
長野県飯田市鼎下山538
TEL 0265-53-4670
FAX 0265-21-1173
E-mail iih@city.iida.nagano.jp



第16回飯田市地域史研究集会

2018年 8月25日(土)・26日(日) 開催

内容

25日(土) 10:00～17:00 第1部「山里社会 ー近世から近代へー」

26日(日) 10:00～12:30 第2部「山里に、向き合う」

会場

飯田勤労者福祉センター(飯田市東栄町3108-1)

講演・報告

吉田ゆり子さん(東京外国語大学教授)・小島庸平さん(東京大学専任講師)
前澤健さん(歴史研究所調査研究員) ほか

山里社会の歴史とくらし

日本は国土の大半を山林で覆われています。近世(江戸時代)には全国で63,000にも及ぶ村がありましたが、山間部村落(山里)はその中で大きな比重を占めていました。今回の研究集会では、近世から近代、現代にかけて、飯田・下伊那の山里がどのように成り立っていたのかを考えます。第1部では、近世から近代の山里社会を検討した研究報告をめぐって議論します。第2部では、木沢と清内路を取り上げ、その歴史と現在を考えます。

2018年申請 研究活動助成募集

飯田・下伊那地域の歴史をテーマにした研究活動を助成します。

応募資格

- ・飯田市内または下伊那郡内に住所を有する団体
- ・大学の卒業論文または修士論文を作成するための研究を行う者

研究期間

平成31年2月まで

助成の条件

- ・飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること。
- ・新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること。
- ・研究成果の口頭による発表を所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表すること。

助成金額

団体および卒業論文…10万円以内
修士論文…2年間で15万円以内

申請手続き

提出書類…歴史研究活動助成申請書、研究計画書
※所定用紙を市ウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

提出期間…平成30年6月30日(土)まで

審査方法

歴史研究所 研究部が行います。

研究論文等の提出

提出期限…平成31年2月28日(木)

助成金の交付

助成金の交付は、助成の条件等に関して必要な審査を行い、交付することが適当と認められたものについて、平成31年4月までに行います。

市民研究員候補の募集

飯田・下伊那の地域史研究などを担う研究者を育成するため、市民研究員候補を募集します。

主な活動

- ・市民研究員候補の活動期間は原則として2年間
- ・歴史研究所研究員の指導により研究論文を作成
- ・歴史研究所の諸活動に参加
(修了後は市民研究員として活動していただきます)

募集人数

若干名

応募方法

研究テーマ・研究計画・志望動機を記入し、歴史研究所に提出してください。
(所定の用紙は飯田市ホームページからダウンロードできます。)

募集期間

平成30年6月1日(金)～平成30年7月31日(火)

審査

面接と書類審査を行い、8月末日までに採否をお知らせします。

飯田歴研賞2018候補作品募集

歴史研究所では、飯田・下伊那の地域史研究における優れた作品を発掘するため、「飯田歴研賞2018」の候補作品を募集します。自薦他薦は問いません。

対象作品

2017年4月～2018年3月に刊行・発表された著書・論文(自費出版を含む)

応募方法

推薦作品を歴史研究所まで持参するか、郵送してください。

応募締切り

平成30年6月30日(土)

審査・表彰

歴史研究所で審査を行い、平成30年度研究集会で優秀作品を表彰します。

共同研究	基礎調査	A 史料所在状況調査	羽田 真也	課題研究	A 小学校区を単位とする地域社会の文化構築に関する歴史的研究	多和田 真理子
		B 史料現状記録調査	羽田 真也		B 山里の分節的把握—阿智村清内路を素材として	吉田 伸之
		C オーラルヒストリー調査	田中 雅孝		C 近世山里社会の存立条件に関する研究	吉田 ゆり子
		D 歴史的建造物調査	樋口 貴彦	単位地域研究	A 飯田・上飯田	多和田 雅保
		E 歴史的公文書調査	太田 仙一		B 座光寺	羽田 真也
		F 在外史料調査	吉田 伸之		C 南信濃・上村	樋口 貴彦
		D 川路	羽田 真也			

基礎研究	顧問研究員	吉田 伸之	「小規模伝統都市・飯田の社会＝空間構造」3
		大串 潤児	「村と戦争」に関する総合的研究
		加藤 陽子	森本州平日記を読む
		田嶋 一	飯田・下伊那の教育・人間形成についての教育社会史的研究
		多和田 雅保	近世・近代の飯田町を中心とするネットワークの研究
		吉田 ゆり子	下伊那地域における身分的周縁に関する研究 飯田市域における中世城館・近世城郭の歴史的研究 下伊那地域における山林資源と地域社会
	研究員	羽田 真也	近世信州伊那地域における村社会の構造—座光寺村を素材として— 近世の天竜川河原をめぐる社会秩序—下川路・時又・今田を対象として—
		太田 仙一	近現代長野県下伊那地域を対象とする経済・経営史的分析
	調査研究員	原 英章	満蒙開拓青少年義勇軍の送出についての史的研究—学校現場の関わりを中心に— 飯田市平和祈念館資料室 所蔵資料の歴史的調査 戦争末期における飯田下伊那の動き—上郷の対空監視哨、川路への豊川海軍工廠の疎開、農兵隊等—
		田中 雅孝	近代養蚕地帯における都市と農村
		齊藤 俊江	下伊那と満洲移民 近代飯田遊廓の歴史
		竹ノ内 雅人	飯田・下伊那地域の寺社と地域社会に関する基礎的研究
		多和田 真理子	小学校の設置運営と地域の関わり—一日誌類の分析を中心に—
		千葉 拓真	近世の飯田・下伊那における領主間ネットワークと地域社会の総合的研究
		樋口 貴彦	山地における住まいの成り立ちに関する研究
		前澤 健	樽木からみる17世紀前半の伊那郡支配—脇坂飯田藩の樽木米を中心に—
		本島 和人	下伊那郡町村長会による満洲農業移住地視察の再検討 青少年義勇軍送出と都市教育会の対応の比較検討
		安岡 健一	飯田下伊那における社会教育の歴史的研究2
	市民研究員	粟谷 真寿美	楯操、自由大学後の歩み、「歩き歩いた末」—江渡嶽嶺から、ヤマギシズムへ—
		清水 迪夫	下伊那青年会と『伊那青年』
林 武史		飯田の街角の文字デザインと歴史を見つめるII	



おおた せんいち
太田 仙一 研究員

1985年 千葉県生まれ
東京大学・修士（歴史学）
専門：近代史

今年の4月に飯田市歴史研究所に着任いたしました。

これまでは、主に明治時代の三菱を対象に、近代社会の企業と経済の歴史を勉強しておりました。今後はさらに興味関心の幅を広げ、飯田下伊那の近現代の経済の歴史を研究していきます。特に、この地域における経済発展を担った人材や、彼らが活動した組織について分析してみたいと思っています。まだまだ右も左もわからないことばかりですが、精いっぱい日々の業務・研究に取り組み、少しでもこの地の役に立てるよう全力を尽くします。どうぞよろしくをお願いいたします。



たなか まさたか
田中 雅孝 調査研究員

1957年 長野県豊丘生まれ
専門：近現代史

高校教員を退職して、4月から常勤の調査研究員となりました。

これまで蚕糸業を中心に下伊那の近現代の農村史を学んできました。歴史研究所では近現代史ゼミで『聞き書き・飯田町の暮らし』などの共同研究を行い、また『飯田・上飯田の歴史』の編集活動に関わり、伝統都市・飯田の奥深い歴史にも関心を抱くようになりました。当地の社会教育の地域学習の豊かな蓄積にも学びつつ、地域住民の皆さんとともに、人と人を結ぶ歴史実践を行い、地域の個性と内発的發展を探っていく地域史の創造に微力ながらも力を尽くしていく所存です。



行って来ました!^{え ど きれい}「江渡狄嶺資料展」(杉並区立郷土博物館分館)

栗谷 真寿美 (歴史研究所市民研究員)

「知ってますか?江渡狄嶺って、飯田に来たことがあるんですよ!」数年前のこと、飯田市立図書館で近くにいたお兄さんが、突然そう言った。私の手にした本の、「狄嶺」という文字に思わず反応してしまったらしい。後で考えるとこれはすごいこと、なぜなら狄嶺の名前を知る人は、そう滅多にいないから。私も知らなかったどころか、どう読むのかさえ??だった。

狄嶺は、大正末期より自由大学や青年運動の盛んだった伊那谷にやっけてきて、村々を回って講演をした。狄嶺の出身は青森五戸の商家、東京帝国大学を中退後、帰農、弟子たちと共に農場を開いた。そして、哲学、宗教、科学等の深遠な素養をもとに、「農」を通して人の生き方、社会のあり方を思索した点が、地域社会の農業青年たちを引きつけた。当時は帰農や求道での共同体参加が話題になり、「新しい村」の武者小路実篤、一燈園の西田天香、「無我愛」の伊藤証信などが次々に伊那谷を訪れている。

それから百年が過ぎた今年、東京都杉並区の郷土博物館で「江渡狄嶺資料展」^{え ど きれい}が開催された。この資料展は、「すぎなみ学倶楽部」の区民ライターから成る「江渡狄嶺取材展示チーム」と、それらを全体統轄するNPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャーが実施団体で、博物館の学芸員らと協力しながら行う「区民参加型展示」である。来館者視点でわかりやすい説明が、「知られざる偉人」狄嶺の姿を描き、視覚聴覚触覚に訴える、まるで美術館のような技法が印象的だった。そして、このような秀逸な技術、知見が、民間の豊富な人材とその活力によって担われていることに驚いた。当日は、愛知大学の岩崎正弥教授による講演も行われ、狄嶺の思想について学ぶことができた。終了後の懇親会では、今度、狄嶺の資料が保存されている青森の五戸に行ってみようという話で盛り上がった。今回の御縁も狄嶺に導かれたものと思う。あのお兄さんの、「知ってますか?...」も狄嶺のささやきだったのかも。あの時、もっと話を聞いておけばよかったなあ。

退職に際して

樋口貴彦 (調査研究員)

東洋大学 ライフデザイン学部助教



2014年の春、チューリッヒにいながらパソコンのディスプレイから飯田の街を航空写真で眺め、わくわくしながら古い街並みの残る橋北地区普門院の参道に面した場所に住まいを決めた際の気持ちを思い出します。それから4年の間に、普門院周辺でも多くの建物が取り壊され、街並みが移り変わっていく様子を見つめながら、通りに面した空き家を借り、窓から見える風越山と南アルプス、そして通りを行きかう人々の姿を眺め、歴史研究所の研究員として、また市民としてこの地域で自分ができることは何かを考えながら日々を過ごしてきました。飯田はソートン・ワイルダーの戯曲『わが町』のように確かな輪郭を持った場所です。その輪郭は、幾つもの台地や河川や山林、そしてそこで営まれてきた生活の積み重ねによって形作られていて、その在り様がとても魅力的です。力不足であり多くの期待に応えることはできませんでしたが、歴史研究所ではその魅力的な輪郭を記述する役目を与えていただけたことに感謝しています。またこれからも伊那谷、そして飯田に頻繁に通い続けるつもりですので、どうぞよろしくお願いたします。

飯田アカデミア2018第84講座

人びとの息づかいの聞こえるような労働運動史を —紡績労働者の人間関係と社会意識—

講師 **三輪 泰史さん** (大阪教育大学名誉教授)

会場 **飯田市役所 C棟3階会議室** (飯田市大久保町2534)

7月21日(土)

第1講 13:30~15:00

「敗戦直後の職場サークル運動—東亜紡織泊工場「生活を記録する会」—

第2講 15:20~16:50

「『女工哀史』の世界の虚実—週刊『工手の母』読者の声にそくして—

7月22日(日)

第3講 10:00~11:30

「階級的な憎しみの文化—大恐慌下の東洋モスリン争議「市街戦」—

第4講 13:00~14:30

「工場法と戦争のインパクト—東洋紡績「神崎工場物語」の思い出の世界—

これまで労働運動史は、無産政党や労働組合の動向を軸に語られてきました。人物がとりあげられる場合でも、指導的な立場にあった著名人のみで、運動を底辺でささえた労働者たちが登場することはありませんでした。それでは、人びとの日々の暮らしぶり、時々のおもいはみえてきません。ふつうの労働者を主人公とする労働運動史が必要です。この講座では、私がそんな思いから研究してきた事例を紹介しながら、日本の労働運動の過去／現在／未来を考えてみたいと思います。

受講料 **500円** (第1講~第4講分資料代)

※1日のみ、1講座講義のみでもご参加いただけます。受講をご希望の方は歴史研究所までお申し込みください。当日参加も可能です。

地域史講座

旧川路村役場文書調査報告会

2016年から進めてきました旧川路村役場文書(川路支所文書)の調査の成果を報告します。どのような方法で整理を行ったのか、どのような歴史資料があったのかなど、調査担当者がお話します。また、絵図などの貴重な歴史資料の公開と解説も行います。川路の歴史をたどる旅にぜひご参加ください。

開催日: **6月23日(土)**

時間: **14:00~16:00**

講師: 羽田 真也(歴史研究所 研究員)
: 齊藤 俊江(歴史研究所 調査研究員)
: 原 英章(歴史研究所 調査研究員)

会場: **川路公民館大会議室**
(飯田市川路2363)

※参加費や事前のお申し込みは必要ありません。
お気軽にお越しください。
※川路まちづくり委員会と共催です。

定例研究会

「戦間期の農村指導者の形成過程 ~河野村長・胡桃澤盛の事例~」

開催日: **7月7日(土)**

報告者: 田中雅孝(調査研究員)

時間: **14:00~16:00**

場所: 飯田市歴史研究所 研修室

歴研ゼミ&ワークショップ

6月・7月の予定

受講生募集! スタッフとともに
歴史を学んでみませんか。

場所: 歴史研究所 研修室

担当: 田中雅孝(調査研究員)

近現代史ゼミ

6月9日・23日

7月14日・28日

10:00~11:40

満州移民研究ゼミ

第82回 6月2日 11:00~12:15

阿智村コミュニティ館2階ホールにて

第83回 6月9日

第84回 6月30日) 10:00~11:40

第85回 7月7日

担当: 本島和人(調査研究員)・齊藤俊江(調査研究員)

わが町の建築史ゼミ

※詳しい内容、日時は
歴史研究所まで、
お問い合わせください。

担当: 樋口貴彦(調査研究員)

地域史(川路)ゼミ

6月13日・20日

7月11日・25日

18:30~20:40

会場: 川路公民館2階視聴覚室

担当: 羽田真也(研究員)

思想史ワークショップ

6月6日・20日

7月4日・18日

19:00~20:40

市民の皆さんが自主的に学び合う場

自分史ワークショップ

6月23日

7月28日

13:20~15:20

市民の皆さんが自主的に学び合う場

ゼミ・ワークショップの詳細につきましては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL0265-53-4670



開所時間: 午前9時~午後5時 休所日: 日曜日・月曜日・祝日